

# SJクイズ ?

[問題編]

Q<sup>1</sup>

2019年の二輪車（自動二輪・原付）乗車中の交通事故死傷者数を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

- ① 15～24歳 ② 45～54歳 ③ 65歳以上

Q<sup>2</sup>

2019年の二輪車が第1当事者※となった交通事故件数を法令違反別にみると、最も多い法令違反は次のうちどれでしょう？

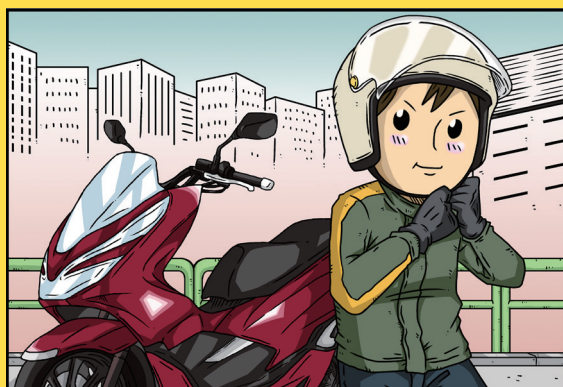
- ①操作不適 ②脇見 ③安全不確認

※第1当事者は交通事故の当事者のうち、過失が最も重い者または過失が同程度の場合は被害が最も軽い者。  
第2当事者は過失がより軽いか、過失が同程度の場合は被害がより大きい方の当事者。

Q<sup>3</sup>

2019年の二輪車乗車中の交通事故死者数510人のうち499人はヘルメットを着用していましたが、このうち事故時にヘルメットが離脱していた割合は何%でしょう？

- ①約10% ②約20% ③約30%



【使用上の注意】

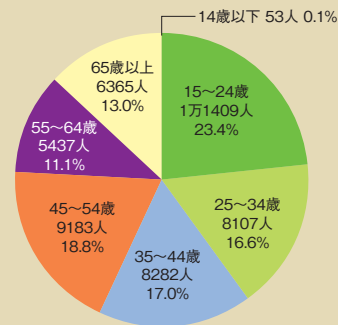
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

**Q 1** 解答 ① 15～24歳

<解説>

2019年の二輪車（自動二輪・原付）乗車中の交通事故死傷者数（4万8836人）を年齢層別にみると、15～24歳が23.4%と最も多く、全体の4分の1近くを占めている。二輪車乗車中の交通事故を低減させるためには、若年層ライダーへのさらなる安全運転教育の充実が必要である。

●二輪車乗車中の年齢層別・交通事故死傷者数(2019年)



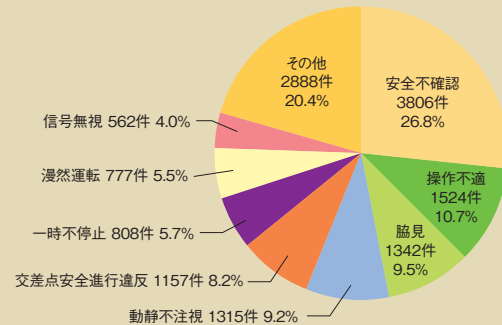
出典：警察庁資料

**Q 2** 解答 ③安全不確認

<解説>

2019年の二輪車（第1当事者）の交通事故件数（1万4179件）を法令違反別にみると、「安全不確認」が26.8%を占め、最も多くなっている。ライダーは、信号機のない交差点はもちろん走り慣れている場所でも周囲の状況をよく見て、左右の安全を確認することが事故防止につながる。また、「脇見」と「動静不注視」とで18.7%もあることから、前方をよく見て運転することが大切である。

●二輪車（第1当事者）の法令違反別・交通事故件数(2019年)



出典：(公財) 交通事故総合分析センター

**Q 3** 解答 ③約30%

<解説>

2019年の二輪車乗車中の交通事故死者数510人うち499人はヘルメットを着用していたが、そのうち30.5%（152人）は事故時にヘルメットが離脱していた。警視庁が2019年7～8月にライダー（3577人）を対象に実施したヘルメットのあごひもの結束状況調査では、29.8%が不適正（結束がゆるい、結束していない）だった。ライダーは事故に遭った時にヘルメットが離脱しないよう、あごひもをしっかりと（指1本入る程度）締めてほしい。

出典：警察庁資料、警視庁ホームページ

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください  
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736